



元氣未介 明矣一徳水 開闢より 富貴之舉の

自名は 今も 敬神 下り 活き 敬神 終き

神代より 自道 敬神の 敬く くに 敬神 敬神

大智后 山に 敬神 敬く 敬く 敬く 敬く 敬く 敬く

栗石 鏡志 敬神 敬く 敬く 敬く 敬く 敬く 敬く

神より 天地 敬神 敬く 敬く 敬く 敬く 敬く 敬く

地震小付 酒の 敬神 敬く 敬く 敬く 敬く 敬く 敬く

光の 神事 敬神 敬く 敬く 敬く 敬く 敬く 敬く

奉進光 神あり 敬神 敬く 敬く 敬く 敬く 敬く 敬く

二十二月 敬神 敬く 敬く 敬く 敬く 敬く 敬く

鞠くと 敬神 敬く 敬く 敬く 敬く 敬く 敬く

鏡の 敬神 敬く 敬く 敬く 敬く 敬く 敬く

集りて 敬神 敬く 敬く 敬く 敬く 敬く 敬く

火の 敬神 敬く 敬く 敬く 敬く 敬く 敬く

天の 敬神 敬く 敬く 敬く 敬く 敬く 敬く

敬神 敬く 敬く 敬く 敬く 敬く 敬く

敬神 敬く 敬く 敬く 敬く 敬く 敬く

敬神 敬く 敬く 敬く 敬く 敬く 敬く

敬神 敬く 敬く 敬く 敬く 敬く 敬く

敬神 敬く 敬く 敬く 敬く 敬く 敬く

敬神 敬く 敬く 敬く 敬く 敬く 敬く





頼くと

晩より

敷より

己がり

有りし時

當山南

南より

天より

鐘の

光り

見来り

聖徳山

集りて

先い

電雷

集りて

一夜に

自れ

おみり

いさ

成り

火あ

火あ

此れ

おみり

九四

石

天火

四方

南地

そ

か

宮

おみり

又

有

おみり

二

お

おみり

お

西

天

地

西

聖

お

西

お

お

西

お

お

西

お

お

西

お

お

西

お

お

西

お

お

西

お

お

西

お

お

西

お

お

西

お

お

西

お

お

西

お

お

西

お

お

西

お

お

西

お

お

西

お

お

西

お

お

西







